

## 東京都観光産業振興政策に関する要望

～オリンピック招致に向けた外国人観光客の訪日促進をめざして～

東京商工会議所

東京都におかれては、オリンピック招致を契機として、昨年12月に2016年の東京の目指すべき姿と政策展開の方向性を示す長期戦略計画「10年後の東京」を策定した。本計画では都市インフラの整備に加え、観光、文化、環境、安全などさまざまな分野で高い成長を遂げつつ、その先進的な取組みを21世紀の新しい都市モデルとして世界に発信するとのビジョンを描いている。その中で観光を重要な分野として位置付けているが、もとより東京都はこれまでも国に先駆けて、東京の魅力の発信、観光資源の開発、旅行者の受入体制の整備に向けた施策を推進しており、本年3月には「東京都観光産業振興プラン」を策定した。

本プランでは「10年後の東京」の実現に向けた取組みと連携した観光産業振興策として行政、民間事業者、都民が一体となって取り組むことを表明しており、戦略性を持って展開されることへの期待は大きい。とりわけ、今後の羽田空港の国際化進展を踏まえ、5年後に700万人外国人旅行者誘致を目指すとの数値を示したことは、観光に賭ける期待の大きさの現れと読み取れる。

国もようやく2006年に観光立国推進基本法を制定し本年1月に法が施行されたことで、観光立国実現に向けた施策が国や地域を挙げて展開されることとなるが、東京都におかれては、世界的な成長産業である観光の重要性に鑑み、ニューヨークやロンドン、パリなどの世界都市のみならずアジアの主要都市との旅行者の誘致・獲得をめぐる都市間競争の中で、これまでも増して日本の玄関口としての役割が期待される。

東京商工会議所としても、本年5月「世界都市・東京ビジョン」を策定し、東京の魅力の発信、外国人の訪日促進に向けた戦略的な情報発信などの重要性を提言しており、地域総合経済団体としての役割を果たすことを前提に、これからの東京都の観光政策、特に外国人観光客の“東京観光”を促進するため下記のとおり要望するものである。

記

## 1. 東京の魅力づくりについて

東京は江戸時代以来の歴史・伝統を背景とした名所、旧跡のほか都市空間、先端技術、アニメやファッション、映画、音楽、豊かな食文化等、現代日本人のライフスタイルまで世界に類を見ない多様で魅力的な観光資源に溢れている。現に外国人観光客は東京の魅力を一面的に捉えず、欧米系は江戸情緒や伝統的な文化、体験型観光を、アジア系はショッピングや都市型先端スポット等に関心を示しており、観光目的も多様化している。

外国人観光客の“東京観光”をシステムとして促進する視点からは、このような素材に磨きをかけ、魅力的な観光資源として活用できるよう、外国人にとってわかり易い“江戸・東京”の観光ルートの整備を一層推進すべきである。そのため、外国人の“江戸・東京”体験に基づくニーズ調査などから、東京の顔となりうるような地域に対し、重点的に支援する仕組みを作り、その蓄積から観光資源や施設、サービスに対する評価制度を検討すべきである。外国人は具体的な評価システムを好む傾向があることから、“東京観光”により一層の効果が期待される。

“東京観光”には象徴的な存在の魅力が乏しいといわれているが、都市の魅力を高める上で、都内の拠点地域や臨海部での美しい景観づくりや24時間賑わう都市空間の整備が多大な効果をもたらすことになる。また、オリンピック招致の観点からはスポーツ・文化拠点となる新たなランドマーク建設も東京の魅力を高める絶好の機会と捉えていくべきである。新たな都市型観光資源創造のため、アフターコンベンションや夜間も安心して楽しめるような魅力づくりについて推進されたい。

## 2. あたたく迎える仕組みづくりについて

“東京観光”の外国人に対し、まずは、誰もが「こんにちは」と日本語での心地良いあいさつで呼びかけ、“江戸しぐさ”にみられる配慮や気遣い、優しさなどを、今の“東京らしさ”として普及させることが重要である。また、多言語での対応が可能なガイド機能として、インフォメーションセンター・案内標識を整備し、迷わず目的地に到達でき、目的地では会話に不便をきたさない、といった“ガイド & コミュニケーション機能”を充実すべきである。併せて、どこでも、誰でも、自由に、使いやすいユニバーサルデザイン化も推進すべきである。

また、“東京観光”というシステムに付加価値をもたらす人的な支援として、“江戸・

東京”に関する多様な専門家による講演会や体験ツアーなどを実施し、東京の理解促進や外国とのネットワーク形成につなげる観光活動も推進すべきである。さらに、東京の外国人留学生の参画も得て、東京の魅力の深さ、豊かさを発信する機会を増やすべきである。若い人材の東京理解促進は、今後の日本へのよき理解者の拡充に寄与するものと思われる。

### 3. 各主体が一体となった取組みの推進

上記のように本商工会議所としても、外国人観光客の誘致は最重要テーマとして認識しており、本商工会議所として積極的に係わっていくことはやぶさかでない。特に、「東京都観光産業振興プラン」の実現に向けては、今後、具体的な施策が実施されていくと思われるが、単年度ごとの施策については事務レベルでの意見交換等を十分に図られたい。また、東京の観光振興を図るためには行政、民間事業者、都民が一体となった取組みが不可欠であり、その第一歩として三者による連絡調整会議の設置等や、各区や観光協会における取組み等について情報共有ができるような体制づくりについても検討されたい。そのためには、都政における観光政策を重点かつ積極的にさらに横断的に推進する「観光局」の設置を望むものである。

以上

平成19年度第6号 平成19年7月5日 第583回常議員会決議
---------------------------------------

#### 【本件担当】

東京商工会議所地域振興部 朝香 井田  
TEL：03-3283-7645